

### 第3回 村岡新駅周辺地区まちづくりコンセプトブック作成有識者会議

#### 議事概要

日時： 2022（令和4年）12月13日（火）10:00～12:00

場所： 藤沢市役所 分庁舎 6階 6-3会議室

出席： <学識経験者・有識者>（◎=会長、敬称略・会長以外五十音順）

◎中島 直人 東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻 准教授  
有吉 亮 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 特任准教授  
石山 さつき 都市プランナー／慶應義塾大学環境情報学部 非常勤講師  
井庭 崇 慶應義塾大学総合政策学部教授  
同大学大学院政策・メディア研究科研究科委員  
高松 誠治 スペースシンタックス・ジャパン株式会社 代表取締役

<藤沢市>

東 晋吾 企画政策部 企画政策課主幹（委員代理）  
森井 壽浩 計画建築部 都市計画課長  
額賀 健一 都市整備部参事 都市整備課長

<事務局>

都市整備部 都市整備課  
昭和(株) (株)フロントヤード)

議題： ①コンセプトブック（ビジョン編 骨子案、ライフスタイル）について

②視点：「アーバンデザイン」について

---

（会議での意見）

- ・コンセプトブックが誰のためにあるのか、まちづくりに関わる全ての人の役割を整理して、どういう位置づけであるか示すべき。まず住民との共有があり、それを外からの人が理解して実現するというのがあるべき姿だと思う。
- ・ライフスタイル、アーバンデザイン、オープンナレッジの3つの視点は並列ではなく、こういったライフスタイルを目指すためにこういうアーバンデザインを目指す、といったような整理が必要。
- ・新駅付近は元々は丘がつながっていて、現在は人為的な低地となっている。人の移動と地形をどのように見せるかが大事。
- ・移動中は街との接触濃度が高い時間である。接触時間に何を生みたいかを意識して通路や滞留空間をデザインする必要がある。
- ・パブリックに面する側の価値を高くする見せ方が大切。企業が貢献できる何かが生まれるようにし、駅や道路に対し開放的になってもらえると良い。
- ・南口の眺望が良い。デッキレベルで眺望できればちょっとした広場になる。
- ・丘も人も多様に関わりあいながらクリエイティブが高まるというコンセプトと街の景観が連動するのは面白い。
- ・遠景、中景、近景の繋がり。北側南側のたまり空間の位置関係と濃度。地形の強調は周辺との地形をどのように考えるか。また容積についても大切な事項となるため調整しながら進めていきたい。